

比較① 導入形態の違い

クラウド vs オンプレミス

比較項目	クラウド型 (EL社SaaS)	オンプレミス型 (自校・自社運用)
導入コスト	初期費用を抑えやすい	初期構築に伴う費用が発生
運用負荷 (サーバー・保守)	ベンダー側で対応	自社での対応が必要
セキュリティ対応 (OS・ミドルウェア含む)	ベンダー側で対応	自社での対応が必要
アップデート対応 (パッチ等)	ベンダー側で対応	個別に対応・改修が必要
バージョンアップ (メジャー更新)	継続的に実施	個別に対応が必要
停電対応	データセンター環境に依存	電源環境に依存
セキュリティ対策	MFA・監視等に対応可能	自社ポリシーに基づき対応
カスタマイズの自由度	標準機能・プラグイン中心	自由に改修可能
スケーラビリティ	柔軟に拡張しやすい	コストと時間がかかる
可用性・災害対策	ベンダー側で対応	自社での対策が必要
コスト予測	定額モデルで予測しやすい	変動費用が発生しやすい
ユーザーサポート	ベンダーが対応	体制に依存
導入スピード	比較的短期間で導入可能	構築期間が必要
データ管理	ベンダー環境で管理	自社で管理

※EL社 SaaS：当社が提供する Moodle クラウドサービス



本資料は株式会社イーラーニングが作成した資料です。
共有・引用の際は、出典として株式会社イーラーニングをご記載ください。
Copyright © e-learning Co., Ltd. All Rights Reserved.